

## 貯水槽清掃作業従事者研修カリキュラム例

### 1 カリキュラムの考え方

- (1) 7時間以上を確保する。
- (2) 科目ごとの講義時間は、研修内容により適切な時間を設定する。
- (3) 2年目以降のカリキュラムは、カリキュラム例から取捨選択し、設定する。

### 2 1年目カリキュラム

| 研修科目                | 研修内容   | 時間  |
|---------------------|--|-----|
| 貯水槽の清掃方法            | 作業用機械器具と取扱い / 作業計画及び作業の実際<br>必要に応じて実技訓練を行う。  | 90分 |
| 貯水槽の塗装方法            | 塗料の選定 / 塗装の種類と方法 / 塗装に必要な機器 / 貯水槽塗装の手順と注意 / 塗装作業の安全対策 / 塗装後の消毒及び水質検査 / 留意点   | 60分 |
| 貯水槽の消毒方法<br>(貯湯槽含む) | 飲料水と人の健康 / 病原性微生物と健康影響 / 化学物質と健康影響 / 人体と水 / 飲料水の衛生と管理 / 消毒の意義と定義 / 消毒方法 / 消毒時における留意点 / 消毒剤の規格 / 水の消毒方法 / 消毒液の作り方 / 残留塩素の測定方法 | 60分 |
| 安全及び衛生              | 衛生的な貯水槽清掃の実施 / 作業中の事故防止 / 緊急時の処置 / 作業報告書の作成  | 60分 |
| 建築物の環境衛生行政          | 貯水槽清掃に関する関係法令 / 労働安全を基準とした関係法令 / 構造基準としての関係法令  | 60分 |
| 作業従事者の責任と任務         | 貯水槽清掃の目的 / マナー   | 30分 |
| 給水設備と機器             | 貯水槽の構造 / 関連機器の名称と機能  | 60分 |

### 3 2年目以降カリキュラム

| 研修科目           | 研修内容  | 時間   |
|----------------|---|------|
| 貯水槽の清掃方法       | 作業用機械器具と取扱い / 作業計画及び作業の実際 / 給水設備の維持管理<br>必要に応じて実技訓練を行う。                             | 120分 |
| 貯水槽の塗装方法       | 1年目カリキュラムの同科目に同じ。   | 60分  |
| 貯水槽の消毒方法と感染症対策 | 消毒の意義と定義 / 消毒方法 / 消毒時における留意点 / 消毒剤の規格 / 水の消毒方法 / 消毒液の作り方 / 残留塩素の測定方法 / 各感染症(レジオネラ症) | 60分  |
| 安全及び衛生         | 衛生的な貯水槽清掃の実施 / 作業中の事故防止 / 緊急時の処置 / 作業報告書の作成 / 電気の取扱い                                | 60分  |

上記科目は必修、他は以下のカリキュラムから選択する。

|             |  |     |
|-------------|--|-----|
| 建築物の環境衛生行政  | 1年目カリキュラムの同科目に同じ。                        | 60分 |
| 作業従事者の責任と任務 | 1年目カリキュラムの同科目に同じ。                        | 30分 |
| 給水設備と機器     | 1年目カリキュラムの同科目に同じ。                        | 60分 |
| 貯湯槽の清掃方法    | 給湯設備の概要 / 貯湯槽清掃の意義 / 温度の管理 / 清掃方法 / 水質管理 | 60分 |